

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP1002	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
基礎植物科学研究成果の国際発信力強化		公益社団法人 日本植物学会	会長 三村 徹郎
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Plant Research			JPR

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>申請時の目標に対して、中間評価時点では概ね順調に取り組まれている。例えば、若手研究者を JPR の編集に携わらせる、あるいは関連学会とのバーチャル共掲載は評価できる。</p> <p>一方、国際情報発信強化の面から見ると JPR 掲載論文の引用度がやや低いことに懸念がある。補助金額が高額なので学会員に重要論文の投稿を促すと同時に契約出版社と交渉してオープンアクセス論文を増やす努力が必要である。例えば、高い引用が期待できる企画論文、特集論文のオープンアクセス化とともに、「企画・特集」の立案に編集委員会などによる組織的な対応が望まれる。</p> <p>また、JPR の広報を出版社任せにすることなく、関連国際学会において独自に取り組むことも必要である。</p>	